

築180年の空き家をリノベーションした 洋裁のシェアアトリエが4月26日（土）オープン！

洋裁のシェアアトリエが4月26日にオープンします。

地域おこし協力隊の長谷川瑞輝(みずき)さんが、長年使われていなかった古民家を丁寧にリノベーションし、地域の特色や住民の声を取り入れながら、古民家の趣を残しつつも快適な空間へと生まれ変わらせました。このプロジェクトは、ただの古民家再生にとどまらず、町内の洋裁に長けた方々や縫製に興味を持つ方が集まる拠点となり、地域住民が集うコミュニティスペースとしても活用されます。

かつては多くの工場が糸を紡ぎ繊維業が盛んであった西川町には、今も裁縫や縫製を得意とする方々が多くいます。当日は、繊維業をされていた町民の方々も参加される予定で多世代が交流する場となり、空き家利活用や地域活性化といった町の課題の解決につながっています。

オープニング企画 「施設見学会&ワークショップ」

4月26日（土）10:00-16:00(ワークショップ13:00-16:00)

西川町間沢117

《オープニングイベント》

終日フリーの見学会（ウェルカムドリンク提供）と定期開催WS第一弾を開催。協力隊の伊東絵里子さんが作るパウンドケーキでお茶会をしながら、長谷川瑞輝さんと一緒にゆったりと刺し子コースターを作る内容です。



左：長谷川瑞輝 右：伊東絵里子

シェアアトリエのご紹介

前職の縫製会社でアパレル製作をしていた協力隊員・長谷川瑞輝さんが間沢地区にある古民家をリノベーションし、洋裁・手芸をする人また新たに始める人にとって魅力的でかつ気軽に利用できる施設としてシェアアトリエを立ち上げました。

プロ仕様のミシンやアイロン仕上げ台などの豊富な機材、またお茶をしながら交流ができる憩いスペースを備え、幅広い年代の方が楽しみながらものづくりが叶うシェアアトリエとなっています。



【お問い合わせ】つなぐ課 松田・高橋 0237-74-2112